



教育目標 「調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」
(1) 確かな学力・自ら学んでいく生徒を育成する
(2) 豊かな心・他者を思いやる生徒を育成する
(3) 健やかな体・健康で活力のある生徒を育成する

なぜ高校へ行くのか ～夢や目標を持つことの大切さ～

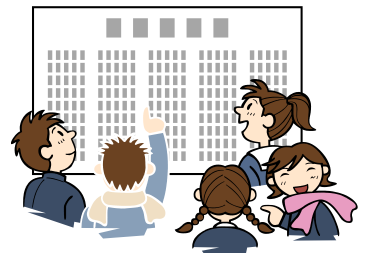
前原中学校長 今井 弘

校庭の銀杏の葉もようやく色づき始め、短い秋の到来を感じさせます。保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。予定していた合唱祭のリハーサルは、インフルエンザの流行のため1・2年生が中止となり、参観を楽しみにしていた保護者の皆様には御迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。皆様のご理解とご協力のおかげで、予定通り合唱祭を実施することができたこと、心より感謝申し上げます。

さて、体育祭に続き合唱祭を終え、いよいよ3年生は進路決定の時期に入ります。今回は、私がいつも進路説明会で話していることを、ご紹介したいと思います。それは、「なぜ高校へ行くのか」ということです。あまりにも当たり前のことですが、このことが進路指導で一番難しく、一番大切なことだと思います。

私が強くそう思うようになったのは、高校に勤めた3年間の経験からです。受け入れる高校側としては、「高校生活での目的意識」をもっている生徒に入学してほしいと思っています。

義務教育が終わるからというだけでなく、高校での3年間を自分なりの目的意識をもって充実させられるかを重視しているからです。



この目的意識は、入試に向けた取り組みにも大きく影響してきます。意識が高く「絶対に〇〇高校へ進学したい」と思えば、勉強も頑張れるでしょうし、自分をよりよく見せるための身だしなみや、言葉遣いにも気をつけるようになるでしょう。そして合格したいという強い思いは、外見だけでなく内面も磨くことになり、人としての成長にもつながります。

しかし、中学生の段階で将来の夢や目標をもつことは簡単ではありません。自分を見つめることで自己理解を深め、将来について考えることが大切です。中学生の段階で考えても決まらない場合は、高校に入学してからでも構いません。そのときは、どのような選択をしても困らないように、決まるまで幅広い知識を身につけるという目標でもよいのです。それも立派な目的意識になります。

高校に進学するかどうかは個人の自由です。つまり、別に高校に進学しなくてもよいのに、なぜ高校へ進学するのか。友達がみんな高校へ行くからとか、親が行けと言ったからとか、そのような理由で高校に進学しても、充実した高校生活は送れません。私は高校でそのような生徒が学校を去っていくのを何度も見てきました。高校に入学したら何をしたいのか、何を頑張りたいのかということをも本人がどれだけ意識できるかで、入試への取り組みも高校での生活も大きく違ってきます。ご家庭でもお子様に、将来の夢や目標を聞いてみてください。そして「なぜ高校へ行くのか」を考えさせていただけたらと思います。

